

委員会報告書

委員会名	平成 29 年度 第 3 回 生産技術委員会
開催日時	平成 29 年 9 月 7 日 (木) 15:30~17:30
開催場所	JX 石油開発 (株) 3 階 321 会議室
出席者 (敬称略)	安楽委員長、倉本副委員長、近藤、日比、山本、城戸、田中、三浦、島田、長澤 (住廣委員代理)、林田、村井、大内、古井、鈴木、兒玉 (運営幹事)、田代 (運営幹事)、脇園 (運営幹事) 以上 27 名中 18 名
議事	<p>1. 委員交代</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>国際石油開発帝石 (株) 近藤 秀樹氏 (古座野委員と交代)</li> </ul> <p>2. 幹事会報告</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>平成 29 年度秋季講演会テーマは、「次世代技術への挑戦—X 年後の石油ガス開発に向けて」とした。</li> <li>80 周年記念出版物 (石油鉱業便覧) の収支が今季プラスに転じたため、収支を一般会計へ繰り入れることとした。ただし、在庫 (約 565 冊) の保管料に年間 20 万円を要し、一般会計に繰り入れると赤字が蓄積されていくことが見込まれるため、一部を大学や図書館に寄贈・賛助会員に配布する等、保管料の削減策を検討する。</li> </ul> <p>3. 理事会報告</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>特記事項なし。</li> </ul> <p>4. シンポジウム原稿の査読状況について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>11 件すべての初稿を受領した。うち総説が 1 件と論説が 2 件あり、本原稿は編集委員会にて査読を実施する。</li> </ul> <p>5. 平成 30 年度春季講演会シンポジウムテーマについて</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>事前アンケートの結果、「IOR/EOR」、「人工採油、坑井刺激」、「生産障害」の 3 つのキーワードを主軸にすることとした。</li> <li>実例や課題、モニタリング等関連する講演題材の有無を各社で調査する。</li> </ul> <p>6. 大学での講演内容について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>昨年と同様、「我が国の石油・天然ガス開発業界の活動紹介」をテーマに講演する。</li> </ul> <p>7. 次回以降の委員会開催場所について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>第 4 回 : 11 月 10 日 (金) 14:30~ 九州大学</li> <li>第 5 回 : 12 月 8 日 (金) 14:30~ 京都大学</li> <li>第 6 回 : 1 月 11 日 (木) 15:30~ アブダビ石油開発 (株)</li> </ul> <p>8. 話題提供</p> <p>「米国 CO<sub>2</sub>-EOR プロジェクトにおける漏洩モニタリングについて」 JX 石油開発 (株) 技術 2 部貯留層・生産 2 グループ 五十嵐 哲 様</p> <p style="text-align: right;">以上</p>